

株式会社オルゴール

Pick Up!

平成29年度

事業計画名

オルゴール『ドラム』製造工程の自動ライン化による効率化と曲目対応の円滑化実現

概要

当社は1997年、オルゴールの世界的シェアを誇った「(株)三協精機製作所」より独立。

低コスト化や中国製品の流通により、質より量としての需要が増加したことから、「200年以上続く素晴らしい工業技術と音色の継承」を経営理念に掲げ、上質なオーダーメイドオルゴールの製造に取り組んでいる。

本事業では重要な部品「ドラム」の製造工程自動ライン化により、曲目対応という特殊工程の効率化を行い市場拡大を目指す。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

精密加工

＜事業類型＞ 一般型

成果

オルゴールの特殊部品である「ドラム」の特殊工程の自動ライン化を達成し、大幅な人的負荷の解消を実現でき効率化が図れた。

また、曲目対応は1曲ずつという単品製造が可能であり、世界では他に類を見ない自動化ラインといえる。

特殊工程の効率化実現により、「手作り量産」の販路開拓が可能となった。

「理想とする新市場開拓に向けた、Q・C・D・Sを追求したい」と語る柴垣社長の夢の実現に一步近づけることができた。



整列する加工完了ドラム



“音”を作り込む「調律」技能



整列する完成品

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社オルゴール（下諏訪町）

本物の音にこだわった「高品質オルゴール」を、手作り量産スタイルで広く世界のマーケットへ。

高品質オルゴールをつくるために独立

株式会社オルゴールの柴垣幹男社長は、オルゴールの世界的シェアを誇る大手企業に27年間勤務した後、こだわりのものづくりを一から自分



オルゴールのドラム部分

でやりたいと1997年に独立しました。「200年以上続く素晴らしい工業技術と音色の継承」を経営方針に掲げ、後継者を育成しながら、音にこだわった品質の高いオルゴールづくりを続けています。独立するまで勤務していた会社とはアウトソーシングの形で協力しつつ、独自のものづくり路線を歩んでいます。会社設立10年目からはインターネット販売を始め、海外マーケットを意識した戦略を展開しています。

同社の一番の強みは、オルゴール編曲の技術です。日本のポップスやオリジナル曲はもとより、海外から珍しい音源が持ち込まれても、オルゴールで美しく奏でられるよう編曲できます。オルゴール編曲は、まさしく、音を楽しむオルゴールづくりの中核技術です。

またオルゴールづくりで重要な「ドラム」部分の製作は、金型からプレスする量産スタイルではなく、ソフトを使用して一台ずつ切り起こし加工を行っています。このため、少ない台数の発注から対応できる反面、熟練の手作業に頼る部分が多く、技術継承と生産性の面で課題がありました。

平和産業だからこそ大切に広めていきたい



熟練が要求される音程調整

「音にこだわった高品質オルゴールをもっと広めていきたい」と同社は平成29年度ものづくり補助金を活用。「ドラム」の切り起こしから研磨、完

成までをどこまで自動化できるかをテーマに挑戦しました。

開発パートナーはオルゴール製作のノウハウを熟知したオリシス社。話し合いを重ね、フルオーダーの専用機を完成させました。これによって手作業の一部を自動化し、最終調整を人の手によって行うという、独自の「手作り量産」スタイルを確立。こだわり品質の維持と作業時間の短縮を両立させました。

こだわり品質のオルゴールづくりでは、人間の特殊技能が必要とされます。編曲作業や振動板の調律技能、最終の品質確認など、繊細な感性と熟練の技を持つ職人たちが同社の財産。この技をずっと継承していけるよう、人材育成にも力を入れていく考えです。

さらに手作り量産によって、販路拡大も期待できます。「オルゴールは平和な世の中の象徴」と柴垣社長。いま、豊かになりつつある東南アジア



ドラム加工を自動化した専用機

諸国へ向けて、外国語版WEBサイトの整備や英語対応スタッフの採用など、着々と海外への営業展開を準備中です。



株式会社オルゴール

代表 代表取締役社長 柴垣幹男
設立 1997（平成9）年4月
資本金 1,050万円 従業員数 10名
本社 諏訪郡下諏訪町湖浜6154-6

TEL.0266-27-0656 FAX.0266-28-4976

URL.<https://www.musicboxs.jp/>

事業内容 オルゴール製造、販売

